

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち10～3月号で参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

プラチナ未来人財育成塾に参加して

泗水中学校2年 仁志隆成さん



プラチナ未来人財育成塾に参加し、13名の講師の方々から講義を聞くことができ、たくさんの方の話を学ぶことができました。

始めに小宮山宏先生の「2050年の世界から自分を考えてみよう」というお話がありました。プラチナ社会（エコロジーで自由な選択ができ、雇用があり誰でも参加できる、資源の心配がない社会）の実現に向けて私達がこれから考えていかなければいけない飽和の時代との向き合い方や、常識を疑い制度を変えていかなければいけないという話は、とても難しいテーマでしたが、そのテーマを意識しながら五日間のプログラムに参加しました。その中で、特に印象に残った講義が二つあります。

一つ目は、比屋根一雄先生の「人工知能AIと社会の変化」についてのお話です。AIが私達の生きていく将来の社会にどのような影響をもたらすかという内容のお話でした。僕は、比屋根先生の話を聞くまでは、人工知能AIというものに興味がなく、正直どのようなものか分かりませんでした。しかし、今回の先生のお話でも興味がわきました。先生の話では、すでに、ある国

では一人一人がAIに監視され、数値が付き、その数値の高スコアや低スコアで扱い方が変わるとのことです。何かAIに支配されているような感じがして恐ろしいと思いました。ただ、AIは恐ろしいだけでなく、ピザ等の宅配がロボット化されたり、旅行の相談をして計画を立ててくれたり等、私達を助けることもしてくれらると聞きました。また、先生は話の中でAIが敵になることはないとおっしゃられたのでとても安心しました。

このように、AIはうまく使えば便利だけど、使い方によっては、恐ろしいものになります。私達の時代は、AIと共に生活していく社会が当たり前になると思うので、これからはもっとAIを理解し未来と向き合っていかなければならないと感じました。

二つ目は、若田光一先生の「宇宙旅行とリーダーシップ」についてのお話です。世界各国のクルーをまとめ、国際宇宙ステーション船長としての任務を果たされた若田先生の話は、学校生活において部活動のキャプテンと生徒会活動をしている私の心に大きく響く内容でした。若田先生は、チームにとって大事な要素は

①チームワーク ②コミュニケーション ③自己管理 ④リーダーシップとフォロワーシップ ⑤チームへの配慮だとおっしゃっていました。常に仲間を思いやり、大切にし、周りの些細な変化にも気付けるようコミュニケーションをとることが、大事だと思いました。コミュニケーションをとり、自分の考えを理解してもらうことで、仲間との信頼関係を築いていけるリーダーを目指していこうと思います。そのためにも、自己管理を徹底しチームに迷惑をかけないよう心がけようと思います。

最後に、私は今回プラチナ未来人財育成塾に参加することができて本当によかったと思います。参加する前は、5泊6日と長期に渡るプログラムについていけるか、友達はどうなるかなどたくさん不安を感じていました。しかし、たくさんの方が助けてくれたり、各講義の内容を振り返るグループワークや最終日に行われた発表会を通じて、自分とは違う様々な考え方が聞けたことは、とてもよい経験となりました。そのようなことから、この経験が「ただのよい経験だった。」で終わらせず、これからの学校生活や部活動、生徒会活動に活かしていこうと思います。